

非結核性抗酸菌症 (2)

3年程前にこの欄で初めて非結核性抗酸菌症について取り上げました。その後もこの感染症に注目し、スクリーニングの中に入れて診てきました。見ようとしなければ、ほとんどの症例で見逃してしまいます。ゆっくりとしたたかに感染病巣を形成していくのです。単独の病変はあまり見られません。アレルギーと合併していたり、他の細菌と混合感染していたり、真菌類(かび)と同居していたり、重金属の蓄積している所に感染したりしています。

一般に知られているのは、肺の抗酸菌感染症で、レントゲン検査、喀痰検査、血液検査等で確定診断されているものです。そのような症例で、通常の治療で治らない場合でも、オリーブ葉と食事療法と対症療法を組み合わせ、軽快していく例を診てきました。

最も多いのは、非結核性抗酸菌の感染と気付かずに症状を悪化させている場合です。水や土の中に普通に存在している菌ですので、まず、口の中の感染が多くみられます。歯周病の重要な菌ですが、そのことに言及しているものを、浅学にして見たことがありません。さらに、次のような症例を経験しました。膝関節炎の痛みで杖に頼っていた方は抗酸菌の感染と判明し、治療により普通に歩けるようになりました。重症の片頭痛症発作の方は抗酸菌感染症の治療で2年以上発作がありません。認知症の方の海馬にも感染がありました。骨髄にも感染が引き起こされて、様々な骨髄機能の低下がみられました。前頭葉の機能が抗酸菌の感染により低下していることもありました。皮膚の感染では抗酸菌とは思わずに薬の選択を間違えると潰瘍化して治りにくなります。その他、胃腸、肝臓、腎臓、膀胱、甲状腺、副鼻腔、内耳等にも感染がみられました。

この感染症には、不思議なことにオリーブの若葉がよく効くのです。大体450mg程を一日3~4回服用するのです。早い人で1か月、ほぼ3か月から6か月で症状が軽快します。良くなっても数か月は内服を続ける必要があります。ここで注意していただきたいのですが、まったく効果のないオリーブ葉が売られているのです。自分ではなかなか気付かないですから、何かおかしいな、と思われたならご相談ください。この菌はもともと弱い菌ですので人から人への感染はほとんどありません。同じ家族でも感染しない人は感染しないのです。

食事療法は甘いもの、アルコールを止めて、少食にすることです。寝る前4~5時間は空腹でいる事は、意外と免疫を高める効果があります。何より大切なことは、自分のアレルギーを摂らないことです。アレルギーが入ると免疫力がかなり低下します。回復には2週間ほどを要します。

対症療法で大事なことは、一人ひとり症状や体質、程度が違うため自分に最も相性の良い物を使うことです。この場合、ご相談くだされば、調べることができます。

どこにでもいる非結核性抗酸菌ですが免疫力が落ちた時や疲れがたまったり、過労や睡眠不足が続いたときなどに、こっそりと体の中に入り込んで、増殖し病気を引き起こします。おかしいな、と思った時はご相談ください。

鈴木富美